

地域と農業を結ぶ、ふれあいと絆の発信源

Agresh

2020. VOLUME.121

4

あぐれっしゅ



10周年 感謝を忘れず、この先も共に

特集

農家支援に総額2.4億円

農業経営の維持・再生産の意欲向上へ

3年目の野菜づくり
スタートします!!

「みんなのよい食プロジェクト」とは、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを、日本の農家とJAグループ、消費者のみなさんと一緒に考えて、行動していく運動です。



腕 じ ま ん

地域じまんのモノ語り



ナガイモを食べて
免疫力UP!!



テレビ埼玉に出演(2/25放送)しナガイモとレシピを紹介する眞田尚伸指導員と、野菜ソムリエプロの北川みゆきさん

おすすめ料理 ナガイモと明太子のシャキシャキポテトサラダ

材料(4人分)

TOM-VEGEナガイモ	380g		
(内訳)			
マッシュ用	300g		
具材用	80g		
(下味)			
酢	小さじ1	マヨネーズ	大さじ5
塩・胡椒	各少々	明太子	30g
長ねぎ	40g	塩・胡椒	各少々
ちくわ	小2本	粗びき黒胡椒	適宜

<レシピ作成:野菜ソムリエプロ・管理栄養士 北川みゆきさん>

作り方

- ① ナガイモは皮をむき、マッシュ用は2~3cm角に切る。具材用の80gは3mm幅のいちょう切りにする。長ねぎはななめ薄切りにし、塩もみをして水分を絞る。ちくわは端から3~4mm幅に切る。
- ② 鍋にマッシュ用のナガイモを入れ、水をひたひたに入れて強火にかける。沸騰したら弱火にして10分間ゆでる。竹串を刺してすっと通ったら火を止め、お湯を捨てる。弱~中火で鍋をゆすりながら水分をとばし粉吹きイモにする。
- ③ ②をボールに移し、(下味)の材料を入れてよく混ぜてから冷ます。
- ④ ③にマヨネーズと明太子を合わせたもの、塩・胡椒を入れ混ぜ合わせて、長ねぎ、いちょう切りのナガイモ、ちくわを加え、全体をさっくりと混ぜる。
- ⑤ 器に盛り付け、好みで上に粗びき黒胡椒を振る。



ナガイモのなめらかさとシャキシャキ感を両方楽しめる和風のポテトサラダ



イベントの自粛について 新型コロナウイルス感染拡大の防止に向け、当面のイベントを自粛致します。

開催中止 JA牛肉まつり4/29(米穀高産部)・JA年金友の会「観桜会」(金融部)

公式Facebook
JA十和田おいらせ

■令和2年4月15日発行 ■発行/十和田おいらせ農業協同組合 〒034-0081 青森県十和田市西十三番町4-28 TEL.0176-23-0311 FAX.0176-24-1829
■編集/JA十和田おいらせ 広報編集委員会 ■公式ホームページ <http://www.jatowada-o.or.jp> ■Email/roumu@jatowada-o.or.jp ■印刷/アート印刷

次回外務予定日 令和2年5/15(金)~19(火)

表紙紹介

● シリーズ 日本の農業に生きる後継者 Vol.92

けいしょうびと

継承 × 人

ももいし支店管内

いそや うたこ
磯谷 歌子さん(42)

農業で独立へ

ブロッコリーの苗植え作業に忙しくする。農業への就職をきっかけに「自分でも育ててみたい」の思いを強くし2018年、兼業農家として野菜作りを始めた。向上心とチャレンジ精神で、常に前向きに取り組む。栽培技術を高め規模の拡大、生産量の増大を目指す。



3月25日撮影

農業への就職がきっかけ

就農前の10年間、畑仕事全般や選別作業をしてきた。様々体験するうちに育てる喜びを感じ、農業を自分でやってみたいと思った。長年、畜産業を営んできた父親から農地を借り、始めたのがブロッコリー栽培。春と秋の年2回、作付けする。就農2年目の昨年、春植えは順調に収穫を迎えたが、秋植えが病気の発生で全滅した。「勉強不足を痛感したが、失敗で得たものは大きい」と、向上心がみなぎっている。

土づくりにこだわりたい

時々作業を手伝ってくれる父親とは「牛の堆肥を無駄なく有効利用したい」の思いが共通。「良い作物を作れるように、土づくりからこだわりたい」と話す。

農業の魅力について「うまくいった時とそうではなかった時の違いを追求する楽しさがある。成長過程を見ながら収穫時を想像するとわくわくする」と話し、やる気に満ちている。

利益をあげて農業機械を揃えたい

この日は、強風にあおられながら苗の植え付け、ビニールトンネルをかける作業を繰り返した。就農当初は、支柱建ても手作業だった。見かねた父親が昨年、中古のトンネルマルチ支柱折込機を購入してくれた。「父の思いを大切にしたい。自分のできる範囲や作付け規模を見極めながら、農業で儲けて農業機械を揃え、規模拡大につなげていきたい」と夢を抱く。

プロフィール…いそや うたこ おいらせ町青葉組合員=本人
家族構成:子1人
農業経営/ブロッコリー1ヘクタール
トウモロコシ1ヘクタール
スナップエンドウなど。

ブロッコリー、トウモロコシの作付面積は、昨年の倍に増やす計画。ブロッコリーの収穫は5月中旬から始まる。

告知

金融部

JA合併10周年記念 懸賞金付き定期貯金 抽選番号決まる!



JA本店で3月25日、竹ヶ原幸光組合長ら常勤役員4人が抽選会を行い、懸賞金付き定期貯金の当選番号が決定しました。ご契約店舗で満期手続き後、当選者の口座へ入金いたします。

発売期間:令和元年6月3日(月)~令和元年8月30日(金)

1等賞 10万円(各組共通・下4桁)

0 8 5 1

4 8 8 8 6 0 2 8

2等賞 5万円(各組共通・下4桁)

1 4 4 5 2 0 6 3 4 7 2 4
7 6 6 9 8 8 3 9 9 5 5 2

3等賞 1万円(各組共通・下3桁)

0 3 1 4 3 6 7 8 7

当選おめでとうございます

金融部

ローン相談会(本支店のご案内)

毎月第3日曜日 9:00~15:00

4月 19日
相談会場
本店・下田支店
七戸支店・むつ支店

5月 17日
相談会場
本店・下田支店
上北支店・むつ支店

もくじ contents

あぐれっしゅ vol.121 4

(卯月・うづき)

特集 4~5p
農家支援に総額2.4億円
~農業経営の維持・再生産の
意向向上へ~

告知版 2p

継承人 3p

NEWS&TOPIC 地域の話題 .. 8p

あぐれっしゅ情報① 12p
新採用職員紹介
人事異動

あぐれっしゅ情報② 16p
採用情報

ふれあい広場
頭の体操 パズル? 17p

information 18p

腕じまん
地域じまんのモノ語り .. 20p

JAの概況 令和2年4月1日現在
正組合員数/6,391人
准組合員数/5,137人
役員数/25人
職員数(准職・嘱託含)/283人
貯金高/785億9,111万円
貸出高/174億2,856万円

24時間365日受付中 JAネットローン

農業機械・農業に関わる
設備資金等の相談も承ります。

各種ローンを取り扱いしております。会社員の方、自営業の方、JAとのお取引がない方もお気軽にご相談ください。各種ローンがネットで仮申込みできます。申込み方法は「JAネットローン」で検索!!

特集

農家支援に総額2.4億円

～農業経営の維持、再生産の意欲向上へ～

3月3～5日までの3日間、管内10カ所で開催された地区別懇談会を開きました。農家組合員208人出席のもと、令和元年度の事業動向や事業別の活動状況などを説明しました。今回の特集では、各会場の質疑応答と合わせ3月理事会で承認、報告された野菜価格低迷に伴う農家支援、産地拡大対策事業の実績を紹介します。

3月理事会だより資料より

令和元年度 野菜販売価格低迷に伴う 営農支援対策費の支払い

令和2年度(令和2年用)野菜肥料予約供給実績に対する支援

対象者戸数(述べ)	支援金額(円)
2,153	99,316,500

支払い日: 令和2年3月19日(木)、30日(月)

令和元年度 やさい集荷対策金の支払い

(対象期間: 平成31年1月1日～令和元年12月31日まで)

	対象農家戸数	助成金額(円)税込
やさい集荷対策金	1,476	52,345,791

支払い日: 令和2年3月25日(水)

令和元年度 肥料・農業・ダンボール奨励金の支払い

(対象期間: 平成31年1月1日～令和元年12月31日まで)

	対象農家戸数	助成金額(円)税込
肥料ランク奨励金 (供給額20万円以上)	2,251	36,403,097
農業大口利用奨励金 (供給額100万円以上)	345	9,978,758
ダンボール出荷奨励金	2,279	21,811,910
計		68,193,765

支払い日: 令和2年3月25日(水)

令和元年度 やさい産地拡大対策事業に係る 助成金の支払い

(対象期間: 平成31年4月1日～令和2年3月31日まで)

	対象農家戸数	助成金額(円)税込
品目助成	76	3,677,750
ムカゴ種苗費購入助成	315	5,970,000
土壌診断料助成	984	1,927,750
労働力対策 (二ノク作業機械導入助成)	10	10,800,000
計		22,375,500

支払い日: 令和2年3月24日(火)



懇談会

質疑応答

【やさい】

Q1 昨年、ナガイモ秋掘りのスチールコンテナが不足した。原因を知りたい。

A1 ゴボウの集荷時期と重なりご迷惑をおかけしました。春掘り時期は配布方法等を検討します。

Q2 ナガイモの精算を年一回に統一した理由を伺いたい。

A2 一部地域で年複数回の精算を実施していましたが、年一回の精算になることにより、掘り取りが春に集中することを防ぎ、適期作業による品質及び収量の向上につなげるためです。年一回の精算については、ながいも専門部会とも協議しております。

Q3

A3 野菜販売の価格低迷による安定基金について、販売価格が安いため昨年だけJAへ出荷した方と毎年野菜を出荷している方を同じく扱うのが、基金の積立額も違うと思うが。

A3 単年度だけの出荷者も基金の対象です。発動後の支払いと、それに伴う再造成として積立金が徴収されます。



Q4

A4 やさい価格が低迷した年は、JA手数料の軽減を考慮してほしい。JA手数料(3%)のメリットを感じない。

A4

A4 やさい価格の低迷に関し、再生産に意欲を持ってもらうため、総額5億6千万円の総合支援をしていますのでご理解願いたい。

Q5

A5 JA手数料に見合う組合員サービス、営農指導に努めます。

A6

A6 販売要請の結果報告について、生産部会にフィードバックがない。営農指導体制と指導員の人員について。

Q6

A6 結果報告は、リアルタイムな情報提供に努めます。指導員の育成を図って参ります。

A6

A6 農業振興計画の営農センター構想の進捗状況について。今年度着手した北部営農センターを検証し、次期計画に反映させていただきます。

【米穀・畜産】

Q1 特Aに評価された「まっしぐら」の栽培方法と今後の価格見通しについて。

A1

A1 特別な栽培方法で特Aになった訳ではないので、県・全農含めた栽培管理等の統一に取り組んでまいります。元年度「まっしぐら」は昨年12月にすべて出荷契約しました。ただし、消費地での単品販売については、特A表示で売り込みを図り、令和2年度産米の評価に期待しているところです。「つがるロマン」との2000円の価格差についてもJAグループ含めて協議してまいります。



Q2

A2 新設の穀類乾燥調製貯蔵施設について、事業申請に昨年のアンケートの結果が反映されているか。

A2

A2 国の補助事業の条件でアンケートは必須です。皆様からのアンケートの積み上げが反映されています。

Q3

A3 カントリーへの搬入方法について。

A3

A3 組合員の皆様には、支店等に一次集荷場所を設けてそこまで運搬してもらい、カントリーまではJAで運搬することを検討しています。

Q4

A4 カントリーの設備について。既存のカントリー3施設はすでに色選機を設置し、全量1等米で出荷しています。新設カントリーにも設置する計画です。また精米設備を備え、精米した米を産直等で販売する予定です。

Q5

A5 国庫補助事業申請額について。国庫補助事業申請については土地取得費は含まれていません。

Q6

A5 米の概算金について、設定時から高くできないか。

A6

A6 当JAが集荷する30万俵すべてに影響するため、慎重に対応しています。毎年、新米の実需者動向を見極めて対応しています。



Q7 カメモシの防除対策の徹底について。

A7 関係機関と協議して参りますが、JAによる一斉防除だけではなく、生産者個々によるほ場管理・追加防除等の取り組みもお願いします。

Q8 県外優良雌子牛の導入実績について。

A8 導入の主体は十和田市で、2年間で80頭を導入しました。導入の平均単価は1頭当たり約120万円です。導入牛の産子が市場に始めていますが、市場の評価はこれからです。

Q9 他JAと比べて酪農の情報が少ない。また酪農ヘルパー等のサービスが低下している。

A9 今後は情報の収集と提供に努めます。ヘルパーの件は、協議して対応していきます。

【購買】

Q1 肥料・農薬・生産資材の価格調査を実施しているのか。

A1 十和田市内のホームセンター等で価格調査を定期的に実施しています。またJAの施設で現地試験を検討しています。

Q2 コロナウイルスの関係で、今後手に入りにくくなる肥料・資材等はあるのか。

A2 現時点で肥料・資材等については不足となるような情報は入っていません。

【産直】

Q1 産直施設の取得計画見直しについて、建設費が上昇した理由と備品をリース契約とした理由。

A1 当初、コンサルタントとの見積もりで計画しましたが、昨今は公共工事等の入札も不調となるケースもあります。改めて設計士に見積もり依頼した結果です。働き方改革等による人件費の高騰も含め、建設コストが上昇したため、什器備品をリース契約として減価償却費の抑制に努めた結果です。

【金融】

Q2 産直施設の参加者・経営の見通しと、集客について。

A2 会員は1000人規模を目標としています。商圏調査を実施し、3年目以降から年間10億円の販売高を計画しています。会員募集については、6月に再度説明会を開催する予定です。コンサルタントが商圏・来店頻度・客単価等を勘案してエリア分析した結果を反映しています。

Q3 産直施設の出入口等は渋滞現状を考慮しての設計か。

A3 渋滞解消対策は関係機関と今後検討する予定です。

【総務】

Q1 貯金残高の割に貸出金が少ないように思うが、余剰金ほどのように運用しているのか。

A1 余剰金の6割は農林中央金庫に預けることになっており、ほかに国債等優良な有価証券に60億円。また、劣後ローン等として35億円を運用し合わせて1億円程度の利益をあげています。

Q1 組合員の高齢化がすすんでいるが、役員の高齢化についても検討してもらいたい。

A1 県内で定年年齢の見直しを検討しているJAはないと聞いています。現在の年齢で若返りをしながらすすめていきたいと考えています。

Q2 下田地区理事が一人になった経緯について。

A2 組合員総数に地区選出役員定数を除いた割合で、下田地区の組合員数割合では定数1名となります。

【要望事項】

- ① 米のフレコン集荷対応について、色選機の導入コストがかかるため、JAとして助成措置の検討をして欲しい。
- ② 青色申告でパソコンの研修会の開催と事務支援をして欲しい。
- ③ 営農・融資等を相談していた担当者から次へと変わるので、人事異動に配慮してほしい。

Q3 ももいし地区の野菜販売高が増えている。職員の増員をお願いしたい。また、営農指導員について、事務が中心で従来の指導員のスタイルと変わってきているように思う。

A3 職員不足については認識しています。職員募集は年に数回行っていますが、人員確保については厳しい状況にあります。特に営農指導員について育成に時間を要する職種であるため苦慮しています。組合員の協力も得ながら支障がでないよう取り組みます。

臨時総代会

カントリー建設など2議案承認 施設整備で、フレコン米出荷増量目指す

当JAは3月17日、本店で臨時総代会を開き、十和田市内に新たな穀類乾燥調製貯蔵施設(カントリーエレベーター)の建設を申請することが承認されました。令和4年3月の工事完成を目指しています。この計画は、収穫適期が管内一斉の短期間に集中すること、コンパインの大型化による刈り取り能力の向上、さらに藤坂カントリー施設の老朽化に加え、実需者から今まで以上にフレコン米出荷の増量を求められているためです。



また、JAファーマーズ・マーケット「かだあ〜れ」の固定資産取得の変更についても承認されました。

議案第1号 穀類乾燥調製貯蔵施設新設に係る国庫補助事業申請について

平成31年2~3月に実施した新設カントリーエレベーターに伴う利用意向アンケート結果が980ヘクタールを超える積み上げ面積となったことから、穀類乾燥調製貯蔵施設新設にむけて令和2年度国庫補助事業申請することをご承認願いたい。

- 1) 建設場所 十和田市大字三本木字稲吉121-3ほか
- 2) 受益対象地区 十和田市(三本木事業所管内一部を除く)、七戸町(旧七戸町)、おいらせ町(対象農家1,508人、水稻栽培面積2,771ヘクタール)
- 3) 申請総事業費 2,921,000千円(消費税別:うち国庫補助金1,460,500千円)
- 4) 施設の概要
 - イ) 総処理量/乾粉 7,000トン(玄米 5,600トン)
 - ロ) 日最大受入量/生粉 611.6トン
 - ハ) 計量/トラックスケール 2台
 - ニ) 精米設備/10馬力 1台

議案第2号 固定資産の取得の変更について

地産地消施設設置について、資材費および人件費等の高騰により固定資産の取得額の変更を承認願いたい。

- 1) 総事業費...622,000千円→687,240千円(変更後)

生産拡大 所得増大 太田さん(雌牛)、
小山石さん(去勢)栄冠

～黒毛和種子牛管理品評会～

JAと十和田市黒毛和種改良組合は3月6日、同市の三本木畜産農協で子牛管理品評会を開きました。黒毛和種雌牛の部で太田和政さん(37)出品の「ももこの8」(父・幸紀雄、母の父・安福久、母の祖父・平茂勝)、同去勢牛の部で小山石達也さん(51)出品の「礼留(れいる)」(父・礼美茂、母の父・安平、母の祖父・隆桜)がチャンピオン賞に輝きました。

この日は、生後12カ月未満の雌牛32頭、去勢26頭が出品。チャンピオンの「ももこの8」は「体積があり、体上線もきれい。毛質、骨質も良い。モモに厚みがあり、きれいでバランス、発育が最も優れていた」と高評価を得ました。

- その他の入賞者は次の通り
- ◇優秀1席
 - ▽雌牛の部=沢目喜代人▽去勢牛の部=畑山廣志
 - ◇優秀賞▽雌牛の部=沢目寿弘、豊川誠一、農工園千里平、沢目政光、仁和勝千代
 - ▽去勢の部=坂本秀美、畑山廣志、沢目喜代人
- 敬称略



▲チャンピオン賞に輝いた太田さんと雌牛「ももこの8」



▲チャンピオン賞に輝いた小山石さんと去勢牛「礼留」

生産拡大 所得増大 採血結果で肥育指導

～優良生産者を表彰～

JA肥育牛部会は3月11日、本店で通常総会を開きました。牛の採血結果に基づく肥育指導と管理により、枝肉重量と上物率の向上に成果をあげたことなどを報告し、新年度の継続実施などを承認しました。総会には部会員ら25人が出席。

年間の優良生産者表彰では、枝肉販売で190万円超えの最高額を記録した折田勝男さん(十和田湖)ら4人を表彰しました。

- その他の受賞者は次の通り
- ◇キロ当たり最高単価(3,210円)=小笠原治
 - ◇上物率100%=氣田重由(年15頭)
 - 沢井正貴(年8頭)
- 敬称略



▲優良生産者表彰を受けた生産農家

所得増大 子牛 年231頭100万円超

～新会長に斗沢清さん選任～

十和田市黒毛和種改良組合は2月25日、本店で通常総会を開きました。令和元年度青森県家畜市場の子牛せりの実績として、1頭当たり100万円超えだった子牛が年間231頭と市場全体の5割を占め、さらに月最高値が24頭のうち15頭が同改良組合だったことなどを報告しました。役員改選では、新会長に斗沢清さんを選任しました。

組合員ら100人が出席するなか、高額販売受賞者を代表して沢目公宏さん、太田隆志さんを表彰。来賓で出席した小山田久十和田市長は「研鑽による優れた子牛生産によって、県家畜市場を全国的に高めた」と称賛していました。



▲高額販売受賞者を代表して表彰を受ける太田さん

NEWS TOPIC 地域の話

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化(地域貢献)」に向け、JA十和田おいらせは「創造的JA自己改革」の取り組みを実践中です。



▲工事の安全を願い鍬入れをする竹ヶ原組合長

生産拡大 所得増大 建築工事がいよいよスタート
～ファーマーズ・マーケット
10月オープン目指す～

3月26日、JAファーマーズ・マーケット「かだあへれ」新築工事の安全祈願祭を建設予定地の十和田市三本木里ノ沢で行いました。JAファーマーズとして、県内最大級の売り場面積を予定し、9月末の完成を目指します。

安全祈願祭には工事関係者、竹ヶ原幸光組合長はじめJA役職員ら30人が出席。あいさつで竹ヶ原組合長は「安全で新鮮なおいしい食を提供し、農家所得の増大と地域貢献につなげたい。多くの観光客にもアピールし当地区の魅力を発信する施設にしていく」と述べました。

生産拡大 所得増大 まっしぐら高需要

～初の特Aを弾みに～

JA稲作振興会は3月2日、本店で通常総会を開きました。令和元年5月から単品販売を始めた産地直送米「まっしぐら」の好調な売れ行きと、1等米比率90%を維持したことなどを報告。新年度は食味ランキングで初の特Aを弾みに、さらなる生産コストの低減と高品質生産を目指します。

総会には振興会員ら80人が出席。初の坪刈り共励会表彰では、10㌦収量と食味値で好成績だった佐々木義美さん(大深内支部)が総合の部で栄冠を手に入れました。

- その他、共励会の成績は次の通り
- 総合の部/優秀賞…佐藤茂寿(大深内支部)
 - 里村純一(十和田湖支部)
 - 良食味の部/最優秀賞…宮本慎吾(大深内支部)
 - 多収の部…佐々木茂雄(大深内支部)
- 敬称略



▲坪刈り共励会の総合の部で最優秀賞受賞の佐々木さん

所得増大 野菜の年間販売額2割ダウン
～新会長に小田正喜さん選任～

JA野菜振興会は2月26日、本店で通常総会を開きました。令和元年度の年間取扱高は野菜全般で価格が低迷し、前年度対比で2割ダウンの73億9千万円だったことを報告。役員改選では新会長に小田正喜(大深内)さんを選任しました。

総会には部会員ら100人が出席。新年度計画として年間販売額81億円を目標に掲げTOM-VEGEブランドの生産拡大、消費拡大キャンペーンや農業後継者の育成などに力を入れていくことを確認しました。



▲あいさつする甲田一博会長